女織蚕手業草
壱
歌麿筆

女織蚕手業草
弐
哥麿筆

女織蚕手業草
三
蚕三度の
休乃後桑を
歌麿筆

女織蚕手業草
四
蚕四度めの休
大眠とも
にはの休とも云
追付起出る時をうかゞひその用意をなす体なり
歌麿筆

女織蚕手業草
大眠起して後桑の葉を製する図
五
大眠起して後
桑をきざまずよりハ
多きゆへ桑の葉を
揃製するに
いとまなく
いそがしき
体なり
哥麿筆

六
女織蚕手業草
哥麿筆

女織蚕手業草
七
蚕の種を云図
旋梅より出る時所のよごれ気をあらんでふいそろり出る 蚕ハ 雌乃蝶に来り 雄と牝をてらにして紙へ移し 蚕へ脱し子を産付るなり これをたねといふ
哥麿筆

女織蚕手業草
八
蚕糸を吐終り
蝶になりて
飛出
これを
蚕蛾と
いふなり
歌麿筆

女織蚕手業草
九
哥麿筆

女織蚕手業草
十
哥麿筆

女織蚕手業草
十一
歌麿筆

女織蚕手業草
十二終
哥麿筆